

2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3901 URL https://www.marklines.com  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 坂井 建一 (TEL) 03-4241-3901  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	3,046	20.0	1,185	31.2	1,185	32.3	828	34.3
2021年12月期第3四半期	2,538	29.2	903	29.4	896	28.8	617	44.6

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 845百万円(26.6%) 2021年12月期第3四半期 667百万円(50.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	62.74	62.66
2021年12月期第3四半期	46.76	46.66

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第3四半期連結累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	5,718	4,135	72.3
2021年12月期	4,992	3,593	72.0

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 4,135百万円 2021年12月期 3,593百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第3四半期連結累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,270	22.0	1,600	24.8	1,600	25.9	1,120	26.5	84.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一  
 期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	13,211,200株	2021年12月期	13,209,200株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	442株	2021年12月期	442株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	13,210,728株	2021年12月期3Q	13,198,413株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年1月1日から2022年9月30日まで）は自動車業界において上海ロックダウンや半導体不足による経済停滞の影響等がありましたが、当社グループは継続して成長戦略に挙げたテーマに取り組んでまいりました。

「情報プラットフォーム」事業については、継続的にオンラインによる効率的な営業を行ったことに加えて、1月と5月の展示会では対面でのアプローチを行い、受注増加に貢献しました。さらに7月には営業組織を変更し、新規顧客の受注から既存顧客のフォローアップまでグループ単位で一貫して対応できる体制を構築し、顧客の安定拡大に努めました。コンテンツ面においては、4月に主にアジア地域の二輪車台数データを増強、8月には電気自動車（EV/PHV/FCV）販売月報や世界のニュースの週次サマリー掲載等、ご要望の高い情報を継続的に強化してまいりました。また、主要部品メーカーの四半期決算データをAIで分析し即時、メールで自動配信する機能や、ご利用者の関心の高いコンテンツをご提案するレコメンド機能等、DXを活用してお客様のニーズに合わせた情報をお届けするサービスを追加しました。このほか、無料会員登録のインターフェースを刷新したことにより、無料会員登録者数は増加しました。これらの結果、契約社数は前連結会計年度末から327社増加（前年同期441社増加）の4,535社となりました。

ベンチマーキング関連事業については、車両・部品調達代行サービスにおいて、第3四半期は高額案件の減少などから売上高、利益ともに計画を若干下回る結果となりましたが、累計では、EV車両本体や電動ドライブユニット（E-Axle）の売上が貢献し前年同期を上回る結果となりました。またデータ販売においては、第3四半期に入りHMI技術やAion S用e-Axle等の当社内製レポートも売上を牽引しました。コンサルティング事業については、コスト分析やEV関連の技術動向調査の引き合いが堅調に推移したものの、大型案件の受注が少なく売上高は微増にとどまり、外注費の負担増から営業利益は前年同期を若干下回る結果となりました。プロモーション広告事業（LINES）については、リピーターのご利用が堅調に増加する中、サマーキャンペーン等も奏功し、売上高、利益ともに前年同期を大きく上回りました。LMC Automotive Ltd. 製品（市場予測情報）販売事業については外部メディアで紹介される機会が増えたため認知度がアップしたこと、また新たに販売されたバッテリーやモーター等のEV関連部品の仕様情報を含む予測サービスへの受注も相まって、売上高は前年同期を大きく上回る結果となりました。人材紹介事業については、特にOEM向けの管理職クラスの案件が多くなり、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。自動車ファンド事業については、各組合員から受け取る管理報酬の内、当社出資比率に応じた額を売上高として四半期ごとに計上しております。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は売上高3,046百万円（前年同期比20.0%増加）、営業利益は1,185百万円（前年同期比31.2%増加）、経常利益は、1,185百万円（前年同期比32.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、828百万円（前年同期比34.3%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

- 「情報プラットフォーム」事業：売上高1,941百万円(前年同期比19.4%増加)、セグメント利益(営業利益)1,160百万円(前年同期比24.5%増加)

当第3四半期連結累計期間における契約社数は前連結会計年度末から327社増加し、4,535社となりました。第2四半期には一時的に中国の新規顧客獲得が鈍化しましたが、第3四半期に入り無料会員登録の増加施策が功を奏し、安定的に登録者数が推移したこと、また対ドルや人民元、その他の通貨に対して円安となったことで「情報プラットフォーム事業」の約52%を占める外貨建て売上が増加し、売上高は1,941百万円(前年同期比19.4%増加)となりました。

- 「情報プラットフォーム事業」地域別売上高

地域	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) (百万円)	増減率(%)
日本	821	889	+8.3
中国	243	350	+44.0
アジア	231	289	+24.9
北米	157	198	+26.0
欧州	164	201	+22.6
その他	7	11	+52.7
合計	1,626	1,941	+19.4

- ベンチマーキング関連事業：売上高471百万円(前年同期比17.5%増加)、セグメント利益(営業利益)126百万円(前年同期比30.1%増加)

当第3四半期連結累計期間のベンチマーキング関連事業は、部品調達代行事業において、年初OEMからのEV車本体の受注や、ティアダウン部品販売の第2弾として、Hyundai NEXO(FCV車)の部品販売等があったものの、第2四半期、第3四半期は受注が低調であったために、売上高は前年同期比8.5%の増加に留まりました。分解調査データ販売においては、Tesla Model 3やModel Y、上汽GM 五菱社製の宏光(Hongguang)MINIの分解レポート等の受注が自動車メーカーや部品メーカー向けに好調だったこと、さらに当社内製レポート(HMI技術、Aion S用e-Axle)の販売が売上を牽引しました。

- コンサルティング事業：売上高239百万円(前年同期比7.4%増加)、セグメント利益(営業利益)39百万円(前年同期比9.8%減少)

大手自動車メーカーや部品メーカーがリピーターとして定着しましたが、コンサルタントの人員増を受注増でまかなうことができず、売上高は前年同期より微増にとどまり、外注費の負担が高い案件も散見されたため、セグメント利益は前年同期より減少しました。

- プロモーション広告事業(LINES)：売上高58百万円(前年同期比34.3%増加)、セグメント利益(営業利益)50百万円(前年同期比55.9%増加)

継続して高いリピーター率を維持する中で、LINESトップページに新設した資料ダウンロードボタンからの資料請求やお問合せも多く、売上が伸長しました。

- LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業：売上高172百万円(前年同期比35.3%増加)、セグメント利益(営業利益)46百万円(前年同期比55.8%増加)

当第3四半期連結累計期間のLMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業は、第2四半期に引き続いて、8割近い顧客が契約更新をする中、EV関連への堅調な需要から、売上の74%が電動車予測関連サービスとなりました。販売量の増加に伴い仕入価格の低下も続いており、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ大きく増加しました。

- 人材紹介事業：売上高134百万円(前年同期比40.8%増加)、セグメント利益(営業利益)54百万円(前年同期比75.7%増加)

自動車メーカー向けの管理職クラスの案件が成約し、受注が比較的スムーズに進んだことから、売上高、利益ともに前年同期を上回る結果となりました。(成約件数は64件、前年同期46件) また、人材派遣業の申請も進めており、新しいサービスも展開してまいります。

- 自動車ファンド事業：売上高29百万円(前年同期比31.8%増加)、セグメント利益(営業利益)2百万円(前年同期は△8百万円)

自動車ファンド事業は、2月に第1号投資案件(投資額2億円)を実行し、その後の投資案件の発掘、将来性判断など約1,500社以上の新興企業データを蓄積しております。出資者の方々へは四半期毎にベンチャー・スタートアップ100社情報の提供も継続して進めました。

○セグメント別損益

		前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) (百万円)	増減率(%)
「情報プラットフォーム」 事業	売上高	1,626	1,941	+19.4
	営業利益	932	1,160	+24.5
ベンチマーキング関連事業	売上高	401	471	+17.5
	営業利益	96	126	+30.1
コンサルティング事業	売上高	222	239	+7.4
	営業利益	43	39	△9.8
プロモーション広告事業	売上高	43	58	+34.3
	営業利益	32	50	+55.9
LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予測情報)販売事業	売上高	127	172	+35.3
	営業利益	30	46	+55.8
人材紹介事業	売上高	95	134	+40.8
	営業利益	30	54	+75.7
自動車ファンド事業	売上高	22	29	+31.8
	営業利益又は営業損失(△)	△8	2	—

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期業績予想につきましては、2022年2月10日に公表しました通期連結業績予想及び期末配当予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2022年11月4日)発表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,951,623	4,717,768
受取手形	-	10,000
売掛金	227,985	208,150
商品	11,717	8,031
仕掛品	644	40,323
前渡金	62,802	22,729
前払費用	28,834	27,779
その他	6,150	8,547
貸倒引当金	△2,190	△2,288
流動資産合計	4,287,569	5,041,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,407	26,969
減価償却累計額	△7,866	△7,585
建物及び構築物（純額）	20,541	19,384
その他	47,072	51,150
減価償却累計額	△34,099	△39,918
その他（純額）	12,972	11,232
有形固定資産合計	33,514	30,617
無形固定資産		
ソフトウェア	35,490	30,693
ソフトウェア仮勘定	-	870
無形固定資産合計	35,490	31,563
投資その他の資産		
投資有価証券	446,032	402,884
破産更生債権等	240	205
長期前払費用	2,306	1,088
長期預金	54,150	60,870
敷金	98,355	97,615
繰延税金資産	34,936	51,431
その他	-	1,503
貸倒引当金	△240	△205
投資その他の資産合計	635,780	615,393
固定資産合計	704,784	677,574
資産合計	4,992,354	5,718,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,996	108,689
未払金	9,298	9,687
未払費用	41,066	27,134
未払法人税等	228,126	157,557
未払消費税等	64,073	38,667
前受金	954,648	1,172,828
役員賞与引当金	8,700	-
預り金	21,327	5,809
賞与引当金	11,502	54,888
その他	-	0
流動負債合計	1,393,738	1,575,263
固定負債		
退職給付に係る負債	4,852	7,949
固定負債合計	4,852	7,949
負債合計	1,398,591	1,583,212
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	370,751	370,951
資本剰余金	288,558	288,758
利益剰余金	2,915,576	3,440,563
自己株式	△784	△784
株主資本合計	3,574,101	4,099,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,997	△10,820
為替換算調整勘定	11,663	46,734
その他の包括利益累計額合計	19,661	35,914
純資産合計	3,593,762	4,135,403
負債純資産合計	4,992,354	5,718,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,538,635	3,046,350
売上原価	929,690	1,081,818
売上総利益	1,608,944	1,964,531
販売費及び一般管理費		
販売促進費	6,151	13,256
販売手数料	876	700
広告宣伝費	7,473	10,609
役員報酬	42,707	41,055
給料及び手当	326,822	363,904
賞与引当金繰入額	33,800	33,052
退職給付費用	5,704	8,735
法定福利費	56,819	64,190
減価償却費	9,649	7,388
貸倒引当金繰入額	889	585
賃借料	50,525	52,339
その他	163,950	183,286
販売費及び一般管理費合計	705,369	779,103
営業利益	903,575	1,185,428
営業外収益		
受取利息	2,914	4,218
受取配当金	2,164	4,617
為替差益	-	5,629
その他	2,490	2,305
営業外収益合計	7,569	16,771
営業外費用		
持分法による投資損失	13,901	16,025
為替差損	593	-
その他	63	221
営業外費用合計	14,559	16,246
経常利益	896,585	1,185,952
特別利益		
持分変動利益	8,889	-
固定資産売却益	11,043	-
特別利益合計	19,932	-
特別損失		
投資有価証券評価損	33,934	-
特別損失合計	33,934	-
税金等調整前四半期純利益	882,583	1,185,952
法人税、住民税及び事業税	285,583	365,354
法人税等調整額	△18,225	△8,190
法人税等合計	267,357	357,164
四半期純利益	615,226	828,788
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,918	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	617,144	828,788

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	615,226	828,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,086	△18,817
為替換算調整勘定	11,145	35,070
その他の包括利益合計	52,232	16,253
四半期包括利益	667,458	845,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	669,377	845,041
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,918	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いによっておりますが、当第3四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	「情報プラットフォーム」 事業	ベンチマー キング 関連事業	コンサル ティング 事業	プロモー ション広 告事業	LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予 測情報) 販売事業	人材紹介 事業	自動車フ ァンド事 業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	1,626,272	401,118	222,801	43,240	127,509	95,454	22,238	2,538,635	—	2,538,635
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,626,272	401,118	222,801	43,240	127,509	95,454	22,238	2,538,635	—	2,538,635
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	932,792	96,960	43,893	32,528	30,148	30,827	△8,596	1,158,554	△254,979	903,575

(注) 1. セグメント利益の調整額△254,979千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	「情報プラットフォーム」 事業	ベンチマー キング 関連事業	コンサル ティング 事業	プロモー ション広 告事業	LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予 測情報) 販売事業	人材紹介 事業	自動車フ ァンド事 業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	1,941,505	471,361	239,269	58,076	172,462	134,355	29,319	3,046,350	—	3,046,350
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,941,505	471,361	239,269	58,076	172,462	134,355	29,319	3,046,350	—	3,046,350
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	1,160,861	126,190	39,581	50,709	46,958	54,179	2,553	1,481,034	△295,606	1,185,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△295,606千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。なお、売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。